

# マネジメント強化プログラム

## 導入企業が成果実感

日本生産性本部が、中小企業の経営改善を目指して開発した「マネジメント強化プログラム」を導入する企業が、兵庫県内で増えている。取り組みをたたえる認証評価制度では、過去2回で認証された全国9社のうち7社が兵庫県内の企業。神戸商工会議所が積極的に推進しているのが背景で、導入企業の中には集客増や人材育成で成果を実感している企業が目立っている。(広岡磨璃)

同プログラムは、同業者の佐伯里香社長は部が2007年に開発し「自分が中心になってや。経営の課題を分析し、ってきたが、組織としてそれに沿った解決策を考案して実行するという内容。成果を上げることが目的にしたのが特徴だ。日々の業務に追われがちなか堅・中小企業の経営者にも取り組みやすいよう、専門のアドバイザーが解決策の進み具合のチェックなどで協力する。昨年からプログラムを導入し、昨年、今年と2年続けて認証企業に選ばれた。システム開発のユーステム(神戸市中央区)。神戸商工会議所の勧めで取り組んだ。2002年の会社設立で、創

まず、集客力や営業力、製品の品質など、項目ごとの行動目標と成果目標を設定。実現のための計画を作り、社員総出で取り組んだ。それまで個人が裁量に任せていた各部門の課題を、全社で共有。個々の計画ごとに、役職を問わないリーダーを置いた。

結果、社員の協力関係が深まり、運営するインターネットサイトからの

集客が約3倍になる成果もあったという。佐伯社

## 「社員結束し客3倍」の例も

長は「社員全員が『経営に参加している』という意識が高まった。業績も上向いている」と話す。このほか、電子機器組



「マネジメント強化プログラム」認定証を手にするユーステムの佐伯里香社長＝神戸市中央区港島中町6

み立ての飾東電機(姫路市)は、今年初めてプログラムを実践した。課題として、技術職の能力を正確に把握する必要性が浮かび上がり、人材育成策を強化。結果的に、取引先からの急な受注量の変更も要請にも機敏にこたえられるようになったという。神商議の担当者は「兵庫県内では、神戸商小企業の経営改善には効果的な内容で、実際に成果が上がっている。PR指導をしている。本年度は神商議の講座を通して」としている。

レポート  
ひょうご  
経済

神商議が積極的に推進